

クビアカツヤカミキリがモモやウメを狙っている！

被害防止のために早期対策が重要です

早期対策のポイント

相手を知る

産卵させない

被害拡大させない

対策1 相手を知る

特徴

栃木県マニュアルP1～3 参照



- ・成虫は体長2～4cm、**クビが赤く**、体はツヤツヤした黒色。
- ・産卵数が**1000個**以上と多く、**普通のカミキリ**ではない。
- ・幼虫が**モモ**、**スモモ**、**ウメ**、**サクラ**の樹内を**1～3年間**食害し**枯死**させる



成虫が産卵



大量の幼虫が樹内を食害



木が枯死

被害木の発見方法

和歌山県マニュアルP4～5 参照



- ・幼虫が木の外に出す**フラス**（木くずとフンが混ざったもの）が目印。
- ・フラスは、**明るい色**で**ミンチ状**、**薄い木くず**を多く含む。
- ・被害は幼虫が活動する**3月下旬～11月**に確認しやすい。



明るい色のフラス



ミンチ状のフラス



薄い木くずを含む

愛知県内の発生状況

愛知県ホームページ参照



- ・確認地域が**23市町村**まで拡大中（右図、2026年8月現在）
- ・サクラ以外に**モモ**や**ウメ**など**生産園地**で被害が発生。
- ・被害地域は1年間で**3km**以上**拡大**する。
- ・**未発生**の市町村で**被害発生**の場合、最寄りの普及課、J A、市町村いずれかに**報告**



近隣市町村で確認されている産地は早急に防除対策を開始してください。

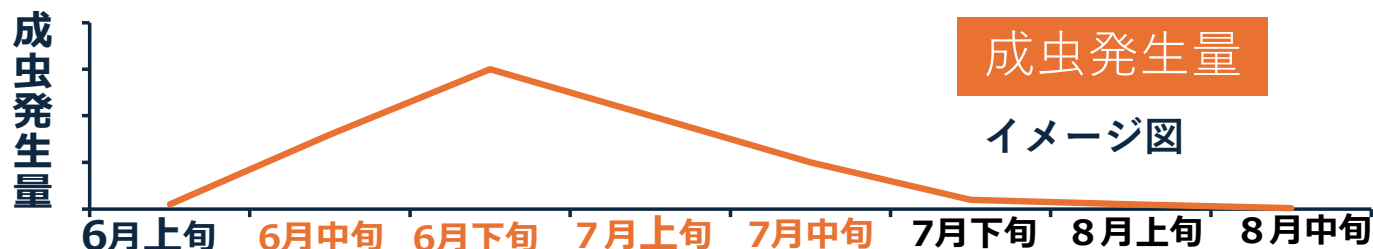
対策2 産卵させない

★薬剤散布

和歌山県マニュアルP12参照



- ・成虫の発生時期の6月上旬から8月上旬に登録薬剤を**3～5回**散布する。
- ・特に発生が多い**6月中旬～7月中旬**の薬剤散布が重要。
- ・枝・葉だけでなく、**主幹にしっかりかかるように**散布する。



ネット巻き・成虫撲殺

農研機構マニュアル
37～53参照



- ・成虫の**飛散防止**と**産卵防止**のため被害木にネット（目合い**0.3mm以下**）を**2重**に巻く。
- ・設置期間は成虫発生時期の**6月～8月**。
- ・定期的に見回り、ネット内部の成虫を**撲殺**する。



被害木のネット巻き

対策3 被害拡大させない

★被害木の伐採・抜根

農研機構マニュアルP60～61参照



栃木県マニュアルP6～9参照



- ・確実に幼虫を駆除できるため、**被害拡散防止**効果が最も高い。
- ・**侵入初期の産地**の被害木や**フラスが4カ所以上**の被害木は伐採が望ましい。
- ・成虫が発生しない**9月～翌年4月**までに伐採・抜根し、速やかに処分する。
- ・被害木は焼却場での**焼却**や**破碎**、**くん蒸**のいずれかで処分する。

幼虫の駆除

和歌山県マニュアルP7～8参照



- ・フラス数が**3個以下**で伐採できない場合、幼虫を駆除し**成虫拡散を抑える**。
方法1 被害部の**樹皮をはぎ**、幼虫を**捕殺**する（剥皮部は保護材を塗布）。
方法2 フラスを掻き出し、**スプレー剤**のノズルを差し込み**噴射**する
- ・処理数日後に新たなフラスがあった場合は処理を繰り返す



フラス発見



方法1 幼虫捕殺



方法2 スプレー

1つの手法では防除困難。複数の方法を組み合わせて被害を抑制してください。